

■トラック10 夜のお相手 ウツギver

//BGM 夜の海辺の波の音

//SE こんこんと扉を叩く音

//ウツギ 正面遠くで話します

//ドア越しの編集

//緊張している

「し 失礼致します お客様？  
ウツギです」

「は…入ってもよろしいでしょうか？」

「は はい…

ど…どは…」

//SE 扉を開ける音

//SE 部屋に入る足音

//ウツギ 部屋に入るため

正面少し近くへ移動しながら話します

「失礼…いたします(移動する)」

//SE 扉を閉める音

「ふう…ん…はあ…

あ…あの…お客様」

//SE 頭を下げる布音

「今晚は…夜のお相手に

ウ ウツギをお呼び頂き

誠にありがとうございます(頭を下げる)」

//SE 頭を上げる布音

「んふあ(頭を上げる)…

ウツギが…せ 精一杯

ご奉仕させていただきますね」

//SE ゆっくり近寄ってくる足音

//ウツギ 正面近くへ

移動しながら話します

「では…お客様？」

どうぞ…そのままベッドに寝て頂いて…」

//SE 男性がベッドへ寝る布音

//ウツギ 男性が寝るため離れるので

左側遠くへ移動しながら小声で囁きます

「はい…ありがとうございます」

…はい それで 大丈夫ですよ」

/SE 男性の隣ベッドへ移動する際の  
布音

//ウツギ 左側近くへ移動しながら  
声を出さずに囁きます

「では…お隣…失礼いたします  
んっ…と(移動する)」

//SE ウツギが左側でもぞつく布音

//ウツギ 左側近くで声を出さずに囁き  
ます

「んはあ…ん んう…  
き 緊張…し…します」

「んっ…んう…で ではお客様？  
その…早速ですが  
…な…なさいますか？」

「は…は はい… え…と」

「その…お客様…？  
まずは…な…から…」

//SE ばつと抱きつく布音

//ウツギ 抱き付かれキスされるため  
正面近くへ移動しながら声を出さず  
に囁きます

「ひう！？(抱きつかれる) あっ…んう  
はあ…お客様？ーんっ(キスされる)」

//SE キスしている最中のもぞつく布音

//キス

「ん んー… ちゅ ちゅ ちゅ…ぷ  
んう んう んちゅ…じゅる  
んう ん ちゅ ちゅる…じゅる」

「あろお…れお れおれおれお…んちゅ  
じゅる んちゅる ぐちゅ ぬちゅる  
んぐちゅ ちゅぷ…んぐんぐう…じゅる  
る んちゅ…ぱあ…」

//SE キスの状態から離れる布音

//ウツギ キスの状態から離れるため  
正面少し近くへ移動しながら声を  
出さずに囁きます

「はあ…はあ…ふはあ…  
えへえ…お客様 いきなり…  
ちゅー…しちゃいましたね…」

「ん…はあ…はあ…お客様…？  
もう一度…キスを…」

//SE ゆっくりと抱きつく布音

//SE キスしている最中のもぞつく布音

//ウツギ 抱き付かれキスされるため

正面近くへ移動しながら声を出さず  
に囁きます

「はあ…む んちゅ

ちゅ ん…んう」

「ちゅ お客様…んちゅ ちゅる

もっほ…くささい…

んちゅ じゅる ん ちゅ ちゅ

「んはあ…はあ…お客様あ…好き…

んちゅ ちゅ じゅる んちゅ

「最初…あったときから…好きです

はあむ んちゅ じゅ んちゅ じゅる」

「んはあ…はあ…はあ…えへ…

好きですよ…お客様」

「はあむ んちゅ じゅる

んんっ ん…ちゅぶ…ん」

「お客様の唇…男らしくて…んちゅ ちゅ

じゅる…好き…です…んちゅ

「お客様も…ウツギの…ん ちゅ

柔らかい唇…好き…ですか？」

「んっ…んちゅ　じゅる  
ちゅ　にちゅ　ちゅ  
ちゅ　ぷ…んふ　うれし…です」

「はぁ…はぁ…お客様…舌…舌…  
からめて…んちゅ  
れお…れおお…れお…んちゅ　ちゅ  
じゅるる…んちゅ　じゅる　ちゅぱ…」

「はぁ…はぁ…お客…様ぁ…  
はぁ…はぁ…好き…」

「はぁむ…　んちゅ  
れお…れおん…にちゅ  
れお…ちゅ　じゅる…んちゅ  
れお…れお…んちゅ  
ちゅ　ちゅ　ちゅ　れお…  
んう　ちゅ　ぱ」

//SE　キスの状態から離れる布音

//ウツギ　キスの状態から離れるため  
正面少し近くへ移動しながら声を  
出さずに囁きます

「んはぁ…はぁ…はぁ…  
頭…くらくら…します  
お客様も…ですか？」

//SE ウツギが正面近くから抱きつき  
左耳元へ移動する布音

//ウツギ 左耳元へ移動しながら  
声を出さずに囁きます

//もっとクラクラさせちゃいますね  
を強調

「はあ…はあ…じゃ…あ  
ここにも…キス…して  
もっとクラクラさせちゃいますね？」

//耳舐め

「はあむ…はむ はむ にゆる ん  
はあむ れお れお…  
はあむ んにゆる はむ… んじゅ  
んっ ああむ」

「ん…ふう お耳…きもちいいですか」

「はあむ んちゅ はあむ  
にゆる にゆる  
れおれお…んちゅ じゆる  
んっ じゆる んちゅ」

「れ…ろろろろろろ…んちゅるうう  
ちゅー…ぽ  
んぐちゅるる… んちゅ  
じゆる ぐちゅる…んぐぷんぐぷ  
んぐぷ…じゅるる ちゅぽ」

「ん…くらくら…しちゃいます？」

んふう お客様…口が…開いてますよ？」

「それに…目もとろんとしていて

かわい…です

はあ む んちゅ はむ

にゆる ちゅ れお…

んちゅ じゆる…れお れお…」

「んっ ふう…もつと…奥…まで…

はあむ…んちゅ れお…れお…

んちゅ じゆるる れおれおれお…」

//SE 抱きつきながら右耳元へ移動する

布音

//ウツギ 右耳元へ移動しながら

声を出さずに囁きます

「んはあ…お客様…ん…しよ…

こつち…反対側も…気持ちいくしますね」

//耳舐め

「いきますよ？ はあむ んちゅ

はむ れお…れお んちゅ れおれおれ

おれ…

んちゅ じゆるる じゆるる…

んぐふう…んちゅ

はむ…んっ んちゅ… じゆる んっ」

「んはあ…舐めるたびに…ぴくん

ぴくんって お客様 可愛いです」



「そんな姿見せられると…ウ　ウツギも  
興奮してしまいますよお…」

「はあむ　んちゅ　んう　ちゅ　ぷ  
んっ　んっ　れお…れおれお　はむ　ち  
ゅー…ちゅ  
んはあ　れおれおれお　お客はまあ  
…ん　んちゅ」

「んはあ…はあ…好き  
お客様…大好きです…」

「ん…好き…好き…んちゅ  
お客様…んちゅ　じゅる  
んっ　ふっ　はあ　好きっ…んちゅ…ぽ」

//SE　抱きつきながら左耳元へ移動する  
布音

//ウツギ左耳元へ移動しながら  
声を出さずに囁きます

「あ…んふう…お　お客様？  
…おちんちん  
立っっちゃってますよ？」

「ウツギにちゅーちゅーぺろぺろされて…  
興奮しちゃいましたか？」

「んうはあ…すっ…い　嬉しいです  
ウツギ…お客様の事…大好きですから…  
こんなに興奮してもらえるの…嬉しい…」

「お客様…おちんちん…  
触っ…ちゃいますね」

//SE　ぐ　ニスを優しく握る粘液音

「んう…ん…んはあ  
す　すごい…かちかち…です  
それに…我慢汁も少し…あふれてます」

「はあ…お客様　こんなに勃起出来て…  
かつ…いい…ですよ」

「この勃起おちんちん  
シコシコしてもいいですか？」

「は　はい…では　失礼して…  
シコシコさせていただきますね」

//SE　セリフに合わせ手こきする粘液音

「んっ　んう　はあ　はあ　硬い…  
ん…んう　どくどく…脈　打って…  
ウツ　ギ…お客様　の　んっ　ふう  
お　おちん　ちん…触って　るの　好き  
…好き　です…」

「お客様？　お客様　も…んっ  
ふっ　どうぞ…ウツギ　の　事…  
んっ　ふう  
触って…ください…ませ」

//SE セリフに合わせ乳首を触る粘液音

「んっ んうあ

あ…あん あ あ…んう ふっ ふっ  
乳首…はあ はあ くり…くり…んう」

「はあ はあ んっ ダメ じゃないです  
気持ち いい です…

お客様…の…手…すっこい  
きもちいです…」

「んっ んう ふっ お客様…あ あっ  
好きっ おっぱい いじって くれるの  
大好き…んっ はっ 好き 好きっ」

「はあ…はあ…

お客様…我慢 汁 はあ はあ  
先っ ちよから  
んっ んふっ んう す すごい  
出ちやって ます…」

「んっ ふっ んう

ぐちゅ ぐちゅ…って  
えっちな 音…

聞こえ ちやって…」

「んく はあ はあ ふう

こ こんな えっちな音  
聞かされたら…

はあ はあ んう ウ ウツギ  
が 我慢 できない ですよ…」

//ちくび・手こき音停止

「んふぁ お客様？ はぁ はぁ  
舐めてい？ です？ はぁ はぁ  
おちんちん 舐めていいですか？」

「んう はっ はい  
やった…はぁ はぁ う 嬉しい  
嬉しいです…」

「じゃ…じゃあ…

し 失礼しますね」

//SE 抱きついている状態からフエラの  
位置へ移動する布音

//ウツギ フェラの位置へ移動しながら  
小声で囁きます

「んっ…しょ…(移動する)」

//興奮している

「んっ はっ! はっ!

す すごいっ! すごいですっ…

お客様の…こんなに おつきく…

はあ はあ

「そ それじゃ…お客様

舐めっ 舐めますね?」

//SE フェラするため頭を寄せる布音

「はあ はあ 頂きまあ…ふ んちゅ

れー…れお れお

はああ…む んちゅ ちゅ

んっ んぐっ んう んう

ちゅっ じゅるるる じゅるるるるー!」

「んっ じゅる れお

じゅぽ じゅぽ じゅぷ

んはあ はあ…おいひ…おいひ…んふう

お客はまの おいひ…んう

はあむ んちゅ じゅるる じゅるる」

「んはあ はむはむ れお…れー…れー…

はあむ じゅぷ じゅぷ

じゅぷ じゅぷ

んぐっ んぐ んっ…んっ!」

「ふはあ…はあ はあ

お客はまあ…れおれおれおれお  
きもひ いいれすか？  
れおれおれおれお…」

「んはあ はあ お客様のおちんちん  
すっごいおいしいです

はむ この…んちゅ  
先っちょ…から…

どんどん我慢汁が  
あふれて来ていて…」

「(こ)んちゅ じゅるう

ちゅ んちゅ

おいひ…じゅちゅる  
ちゅ ぽあ…」

「はあ…はあ 裏筋も…はむ

んちゅ れおれおれおれ…

んはあ お客様…好き…はああむ  
んちゅ ちゅ ちゅぶ すきい…」

「はむ んちゅ じゅぶ

じゅぶ じゅぶ じゅぶ

んっ んっ 奥…奥まで…

はあむ んぐう…入れて…のどまで…」

「んべっ んべっ ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ  
んっ ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ  
「ぶ」

「っはあ！ はあ！ はあ！

はあ… はあ…

ごほっ ごほっ はあ はあ…

えへ…えへ…お客様？

ウツギのお口まんこ…

気持ち…いいですか？」

「はい…えへへへ…

ウツギのお口はお客様専用ですから」

「はああむ ちゅ じゅる ん いつはい

んちゅ じゅるる ちゅ ぽ

気持ちよく はむ

んちゅ じゅる んはあ

らってくらさいね」

「はむ んちゅ じゅる じゅる

んっ おちんちん

さつきより ふくらんへ…

んちゅ ちゅ じゅるる」

「んふう…出したく…なったら

いっぴきも 出して頂いていっぴきですよ？」

「ウツギのお口 んぐ

ちゅ んじゅる ぐちゅ

ろろろろろ…んはあ

お客様の特濃ザーメンで

いっぱいにあむう… んちゅ

じゅる んっ ひてへらさーませ」

「はむ…んぐっ んっ んっ

じゅるる じゅる

んっ んぐっ んっ んちゅ じゅる」

「喉の…奥も… ふかっつ…んうんぐ

んぐっ ぐぐぐぐぐぐ… んぐ ぐぐっ

んぐうう ぐぐぐぐぐぐ ぐちゅる

じゅるるるるる」

「んんはあ んんっ？ もう らめ？

イク？ んっ んちゅ じゅる

いいれすよ

んちゅ んぐ んぐ んぐ んぐ んぐ」

「んっ…んっ…んっ

んっ んっ んっ んぐ んぐ んぐ

んぐ んぐっー」

//SE 射精音

//SE 口から精液が零れる粘液音

「んんんっーっ」





「んら…ひ…あ

…んぐあ はあ はあく はあ…はあ」

「んふう…はあむ…

ぐちゅぐちゅぐちゅ…

（口の中で精液をこねる）

「くく…くん…くく

んんっ…ぱう…

はあ…はあ…はあ…はあ はあ…」

「えへ…お客様あ

全部…飲んじやいました」

／＼口を開けて舌を見せる

「へえあ…

ほら あー ほら…」

「ん…えへ…

飲んじやいましたよ

お客様の えっちな…」

「あはあ…濃厚で…はあ はあ  
すっこいおいしかった…です

／＼指についた精液を舐める

「はむ…ちゅ んはあ…」

//SE フェラの位置から抱きつき

左耳元へ移動する際の布音

//ウツギ 左耳元へ移動しながら

声を出さずに囁きます

「んっ…んう…んっ…と…(移動する)」

「えへえ…お客様？」

いっぱい精液出してくれて

ありがとうございます

//SE 抱きつく布音

「んふう…ぎゅー…う う…(抱きつく)」

んくう だ 大好きですよ お客様…」

//SE 頭を擦り付ける布音

//ウツギ 頭をなすって来るため

左耳元で左右へ移動しながら声を  
出さずに囁きます

「んっ んっ んう(頭を擦り付ける)  
はあ…すきい はあ…お客様」

//SE 頭を擦り付ける布音

//ウツギ 頭をなすって来るため  
左耳元で左右へ移動しながら声を  
出さずに囁きます

//頭をなすってくる

「んー んう…(頭を擦り付ける)  
好き…好き…大好きです」

//ウツギ 左耳元で  
声を出さずに囁きます

「はぁ…はぁ はっ はっ  
お客様…はっ はっ…」

//SE 股に触らせる布音

//SE 股に触らせる粘液音

「お客様あ？ こ…こお…触ってください…」

「んっ へ…へへへ」お…

んっ ウツギのおまんこお」

「触…て…触…て…」

//SE 股をゆっくりとこする粘液音

「んっあ！ あ あ んっ んっくう  
ん…はぁ…はっ はっ はっあ…  
どうですか？」

「お客様あ…ウツギの…えっちなの…  
えっちおまんこ…

もう　こんなに

とろとろになっちゃってます

お客様の…ほしくて…

たまらなくなつて…る」

「お客様　ほし…ほしいです

お客様の勃起おちんちん

今度はウツギのおまんこに…入れてえ？

入れてほし…」

「はあ　はあ…

お客様…お　おちんちん…

入れて…いいですか？」

「入りたい…入りたい…です

お客様の　おちんちん…

ウツギのえっちなおまんこに…

じゅ　じゅぷじゅぷ…したいです」

「はあ…はあ

お客様…お客様あ…」

「んえ？　んはあ　ほ　本当ですか？

はあ　はあ！　えへ…嬉しい…

はい　じゃ…次は…

ウツギと本気の生えっち…

しちゃいましょうか？」

「んふう は はい！

お客様…好き…好きですよ？  
えへえ…」

／フエードアウト